

露木建設株式会社 における事例

■ 事業所概要 ■

事業所名	露木建設株式会社
従業員数	34名
事業種別、事業内容	建設業、総合建設業(コンクリート造の注文住宅やビル・マンションの設計 施工管理など)
防災対策の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月1回建築施行現場へのパトロールを実施し、労働安全をはじめ非常時の為の防災点検を実施。 ・ 社屋は公園に隣接し、敷地面積的に恵まれているため、災害時には一時避難場所として提供する予定。
所在地	川崎市宮前区野川3025-3
連絡先	044-766-6561
その他(本市との連携状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時における応援に関する協定((社)川崎建設業協会を通じて) ・ 地震等大規模災害時における被災建物等の解体撤去等に関する協定書((社)川崎建設業協会を通じて) ・ 川崎市防災協力事業所登録(平成24年8月)
防災協力事業所としての協力内容	<p>平常時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の防災訓練への参加 ・ 地域の防災に関する会合への参加 ・ 清掃活動等の地域活動への参加 <p>災害時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資機材(バール、ジャッキなど)を用いた救出活動 ・ 障害物の除去 ・ 技術者の派遣(家屋被害調査士・応急危険度判定士) ・ 日用品(タオル、軍手、雨具、懐中電灯等)の提供 ・ 資機材(バール、ジャッキ、電動カッター、フォークリフト、発電機等)の貸出 ・ 一時避難場所等の提供(駐車場、会議室)
企業・事業所URL	http://tsuyuki-kensetsu.co.jp

■ 事例内容 ■

防災対策のきっかけ

昭和29年の創業以来、地元川崎市からの仕事を請け負うことも多く、設立60周年を目前として、地元川崎にどのような恩返しができるか考えていました。東日本大震災発生時、弊社近隣の方が路上で立ちすくんでいるのを拝見した時、とっさに弊社駐車場に誘導しました。このことがきっかけで社員の安全確保はもとより、地域の防災も視野に考えるようになりました。



(駐車場を一時避難場所として提供)

社員の安全確保策

- ・緊急連絡網の作成。
- ・非常時マニュアルの作成。(予定)
- ・ヘルメット、安全靴を支給。(現場職は職業柄もちろんですが、内勤職もデスク周りやロッカーに保管しています。)
- ・手回し充電式のラジオや懐中電灯を設置。



建物等の破損防止策

- ・社屋の耐震診断を実施し、耐震工事を施工。
- ・ガラスフィルム貼り付け。(ガラスの飛散防止対策)
- ・キャビネットの固定。

企業内備蓄

- ・乾パン 5缶(475g/缶)
- ・ペットボトル飲料(500ml) 5ケース(24本/ケース)
- ・タオル50枚
- ・マスク150枚
- ・軍手50双
- ・ヘルメット50個
- ・スリッパ50足
- ・その他(工具、パイプいす、折りたたみテーブル、イベント用テントなど)

上記以外の防災対策

停電対策では、以前からNASとルータ、電話主装置用にUPSを設置していましたが、新たに簡易的なUPSを各デスクトップPCに設置。事務所内NASはバックアップ用HDDを増設しました。



(停電対策に、NASとUPSを設置)



(デスクトップ用のUPSも設置)

東日本大震災の際の被害状況、対応状況、節電の取組等

社屋や事務所内、現場における人的物的被害は特になかったため、地震自体による被害で仕事がストップすることはありませんでした。

社員とは全員震災直後にメールや電話にて安否確認ができました。本社では、テレビやSNSにより被災状況を確認し、定時まで勤務後、交通機関の状況を見て順次帰宅。外出中の社員はそのまま帰宅。現場にて作業中の社員は現場の安全確認後、通常通り定時まで作業を続行し、帰宅しました。翌日以降も通常通り業務を行いました。

節電については、必要最低限の機器のみ使用。事務所内の開口部に網戸を新たに設置し、中間期の空調機利用を控えています。